



手足口病

○どんな病気？

夏かぜの一つで、その名の通り手、足、口に発疹ができるウイルス性感染症です。コクサッキーA16 A10、A6、エンテロウイルス71が主なウイルスです。

○感染経路は？：・飛沫感染 ・糞口感染（便の処理はしっかり！） ・接触感染

○潜伏期間：2～5日間

○どんな症状？

- ・口の中、手、手指、足、おしり、肘、膝に赤い発疹を認めます。
- また、手のひら、足の裏に水疱を伴う発疹を認めます。
- ・37度台の微熱を1～2日間認めることがあります（あまり高熱は認めません）
- ・主な症状が消失して1か月後に爪変形がみられることがあります。
- ・病原ウイルスが数種類あるため、同じ年に2度かかることもあります。

○合併症：無菌性髄膜炎、脳炎、急性小脳失調症（高熱、嘔吐などを認める）

○治療法

ウイルス感染なので、ありません。対症療法です。

口の中の湿疹が痛くて水分摂取ができないことがあります。刺激の少ない水分や食事を与え、脱水にならないように注意してください。

○登園、登校はいつから？

熱が下がり、食事・水分が取ることができるようになれば、発疹が残っていても登園・登校できます。登園許可書は基本的に必要ありませんが、通園している幼稚園・保育園のルールに従ってください。



さくらキッズクリニック
sakura kids clinic